



地域学校協働本部だより

令和7年5月6日発行 NO.2

港区立赤羽小学校 校長	中村 美奈子
地域コーディネーター	石川 啓子
	大蔭 淳子
地域学校協働本部担当	鷲頭 功学

5月の玄関装飾

心地いい初夏の季節になりました。赤羽小学校の玄関では、真っ青な大空を気持ち良さそうに泳ぐ鯉のぼりが、登校する皆さんをお出迎えします。壁では腕っ節自慢の金太郎が、仲良しの森の動物たちと、愉快にお相撲で勝負です。雄大に空を泳ぐ鯉のぼりのように、力強く優しい金太郎のように、皆さんがすくすく成長してほしいと願って作りました。ゴールデンウィークが目の前です。体調に気をつけて、沢山学んで、いっぱい遊んで下さいね。



保護者の皆様

ご進級・ご入学おめでとうございます。5月からは1年生のクラス分けが発表されます。いよいよ1年生もスタートです。元気な子供たちの声が聞こえてきます。今年も赤サポ装飾ボランティア（赤羽サポーター）の方々の手で道路の学校だよりの周りや子ども達を迎える玄関等に季節を感じてもらえるように願った装飾に気付かれたでしょうか。24節気や季節、学校行事を楽しんでもらいたいと願いが込められています。

地域学校協働本部について

「地域学校協働本部」とは、平成20年度から文部科学省が進めている事業です。学校と地域が連携しながら「学校を核とした地域づくり」を目指すための仕組みです。また、先生たちに子ども達と向き合う時間を少しでも多く作ってほしいという狙いもあり、先生方以外でも担えることは地域住民がお手伝いするという事業です。

港区では平成26年度からこの事業を開始して、平成29年度から順次、各幼・小・中学校に地域ボランティアと学校を繋ぐ地域コーディネーターを配置しています。

赤羽小学校も令和元年から始まりました。コロナ禍で活動が縮小したもの、現在5人の方を中心に赤サポ装飾ボランティアの方が学校の玄関を明るくしてくださったり、昔遊びの応援をして下さったりしています。多くの学校では、それぞれの学校のリクエストに応じて地域学校支援コーディネーターが、いろいろな形で活躍しています。